



如水クラブ
山本 由夫
議員

▼観光振興について

- Q 島原半島「GAMADASU」プロジェクトの内容と今後の取り組みは。
- A 「GAMADASU」プロジェクトは、島原半島観光連盟を中心に島原半島の一体的な推進体制を構築し、島原半島の魅力売り込む観光プロモーション事業である。二十四年度は観光窓口機能の強化や旅行商品の開発等を行い、組織強化とプロジェクトの基盤づくりを行う予定である。
- Q 「GAMADASU」プロジェクトの部会や小委員会に、市民が参加したり意見を述べる場をつくってほしい。
- A 市民や半島の皆さんの協力がなくてはできないので、そういう意見も拝聴しながら対応していくのが大変重要だと思っております。
- Q 長崎上海航路から本市への誘客について、どのように取り組むのか。
- A 上海航路開設の効果と県内観光の活性化に生かすべく、行政と民間が情報を共有し、連携しておもてなし事業やツアー商品の造成、販売などを行いたい。

Q 地域力向上支援事業の今後の取り組みはどうなっているのか。

A 島原の食や湧水などを活用した活性化方策について慶応義塾大学から提言をいただいた。二十四年度は具体的な施策の実践に向け、引き続き同大学と連携し地域のネットワークづくりなどに取り組みたい。

▼高齢者福祉・介護保険事業について

Q サービス内容を市民の方へ周知するため、地域包括支援センターが発行している「島原市のちからこぶ」を全世帯に配布できないか。また、市のさまざまな福祉施策をわかりやすくまとめた体系図をつくってほしい。

A 「島原市のちからこぶ」の全世帯配布は予算にもかかわるので検討したい。体系図は必要だと思っておりますので作成したい。

▼教育関係について

Q 二十四年度から小中学校図書館の学校司書に対し、地方交付税措置が講じられる。本市は既に全小中学校に学校司書が配置された先進地であり、これを機に一歩進んだ活性化策を考えられないか。

A 今のところ、現行の週三日が適当ではないかと考えている。



庶民の会
林田 勉
議員

▼施政方針について

Q 地域経済の活性化と雇用創出の今後の展開はどうか。また、新たな取り組みはあるのか。

A 農業分野では、農家の高齢化の進行などで労働力不足が懸念されることから、新たに労働力支援の仕組みとして、二十四年度は農作業のヘルパーを利用する助成を行う予定にしている。企業振興分野では、新規企業の立地、地場産業の拡大を促進し、雇用創出の増大を図ることを支援するため、今回、島原市企業立地促進及び雇用の創出に関する条例を上程している。

▼市営住宅の供給のあり方について

Q 市所有の住宅戸数の現状はどうか。

A 現在、十九団地、九百四十四戸である。

Q 民間アパート、賃貸住宅の空き家の状況はどうなっているのか。

A 長崎県宅地建物取引業協会島原支部の二十三年九月の調査によると、市内アパー

ト千三百八十四戸のうち百五十戸が空き部屋になっており、一戸建て七百五十九戸のうち空き家が五十戸、マンション百一戸のうち十七戸が空き状況となっている。

Q 今後の建てかえ計画はあるのか。

A 現在工事中の萩が丘住宅以外には、建てかえの計画はない。

▼婦人会、青年団の現状について

Q 婦人会、青年団の会員数の激減をどうとらえるのか。

A 婦人会は十三年度で二千六百八十四人だったが、二十三年度は千五百五十五人になっている。会員数減少の要因は、地域帰属意識の希薄化や価値観の多様化などが考えられる。地域行事への協力や青少年健全育成推進など、欠くことのできない団体であり、会員減少対策への支援を行いたい。

▼庁舎建設について

Q どのような方法で市民の意見を吸い上げようとしているのか。

A パブリックコメントの実施については、基本構想や素案を提示し、市ホームページ、各地区公民館や市役所を通じて市民の皆様の御意見をいただきたいと考えている。